

郷田小学校 学校図書館活用研修

調べて・まとめて・伝えよう

第37回学校図書館研究大会静岡大会

関西大学初等部教諭

初等部・中等部・高等部学校図書館教育主任

塩谷京子氏ワークショップより

学校図書館で調べるといって

- 本がない
- 調べ方が身についていない
- 時間がかかる
- 時間がかかる上に力が見つからない

始めは簡単でいい

調べて、伝えたいことを決めて、プレゼンをする
これで1時間

手 順

1. 個人で調べる(4人に異なる資料を配付) 5分
→黄色の付箋紙にピンときたことを書く
2. グループ핑グして伝えたいこと(主張)を決める 10分
→伝えたいことを画用紙に書く(掲示)
→その理由も相談しておく
3. 主張を伝えるための要素を2つ選ぶ 5分
→ピンクの付箋紙に書き、小見出しとする
4. 小見出しにあった図を資料の中から選ぶ 5分
→図の上か下に付箋紙を貼ると即席スライド完成
5. プレゼンの分担をし、練習をする 10分

☆プレゼンをする 20分

1班3分以内

手 順

1. 個人で調べる(4人に異なる資料を配付) 5分
→黄色の付箋紙にピンときたことを書く
2. グループヒアリング(5分)
→伝えのり
→その **1枚に一つのこと**
3. 主張を伝えるための要素を2つ選び 5分
→ピンクの付箋紙に書き、小見出しとする
4. 小見出し
→図の **信長は鉄砲**
5. プレゼンテーション
☆プレゼン **信長は鉄砲を使った**

手 順

1. 個人で調べる(4人に異なる資料を配付) 5分
→黄色の付箋紙にピンときたことを書く
2. グループングして伝えたいこと(主張)を決める 10分
→伝えたいことを画用紙に書く(掲示)

3. **伝えたいことをマジックで書く** 5分
要素を2つ選ぶ 5分
書き、小見出しとする

4. **資料の中から選ぶ** 5分
紙を

5. **練習**

☆

大切に思った付箋紙から順番に出していく

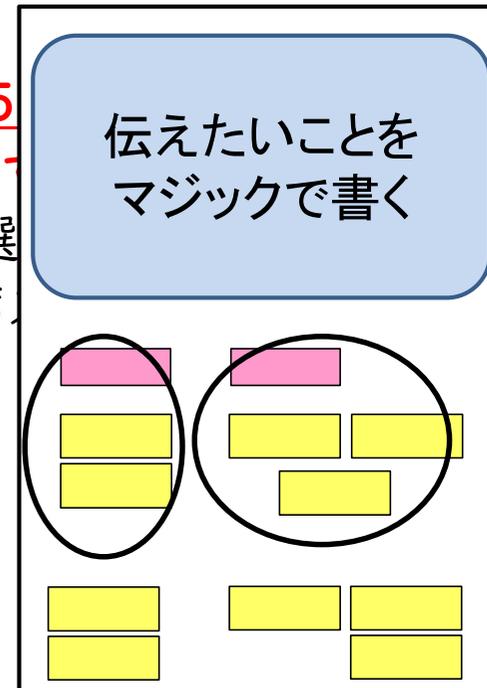
理由も言うと、伝わりやすい

以下

手 順

1. 個人で調べる(4人に異なる資料を配付) 5分
→黄色の付箋紙にピンときたことを書く
2. グループングして伝えたいこと(主張)を決める 10分
→伝えたいことを画用紙に書く(掲示)
→その理由も相談しておく
3. **主張を伝えるための要素を2つ選ぶ** 5分
→**ピンクの付箋紙に書き、小見出しと**
4. 小見出しにあった図を資料の中から選
→図の上か下に付箋紙を貼ると即席
5. プレゼンの分担をし、練習をする

☆プレゼンをする 20分
1班3分以内



手 順

1. 個人で調べる(4人に異なる資料を配付) 5分
→黄色の付箋紙にピンときたことを書く
2. グループ핑グして伝えたいこと(主張)を決める 10分
→伝えたいことを画用紙に書く(掲示)
→その理由も相談しておく
3. 主張を伝えるための要素を2つ選ぶ 5分
→ピンクの付箋紙に書き、小見出しとする
4. **小見出しにあった図を資料の中から選ぶ 5分**
→**図の上か下に付箋紙を貼ると即席スライド完成**
5. プレゼンの分担をし、練習をする 10分

☆プレゼンをする 20分

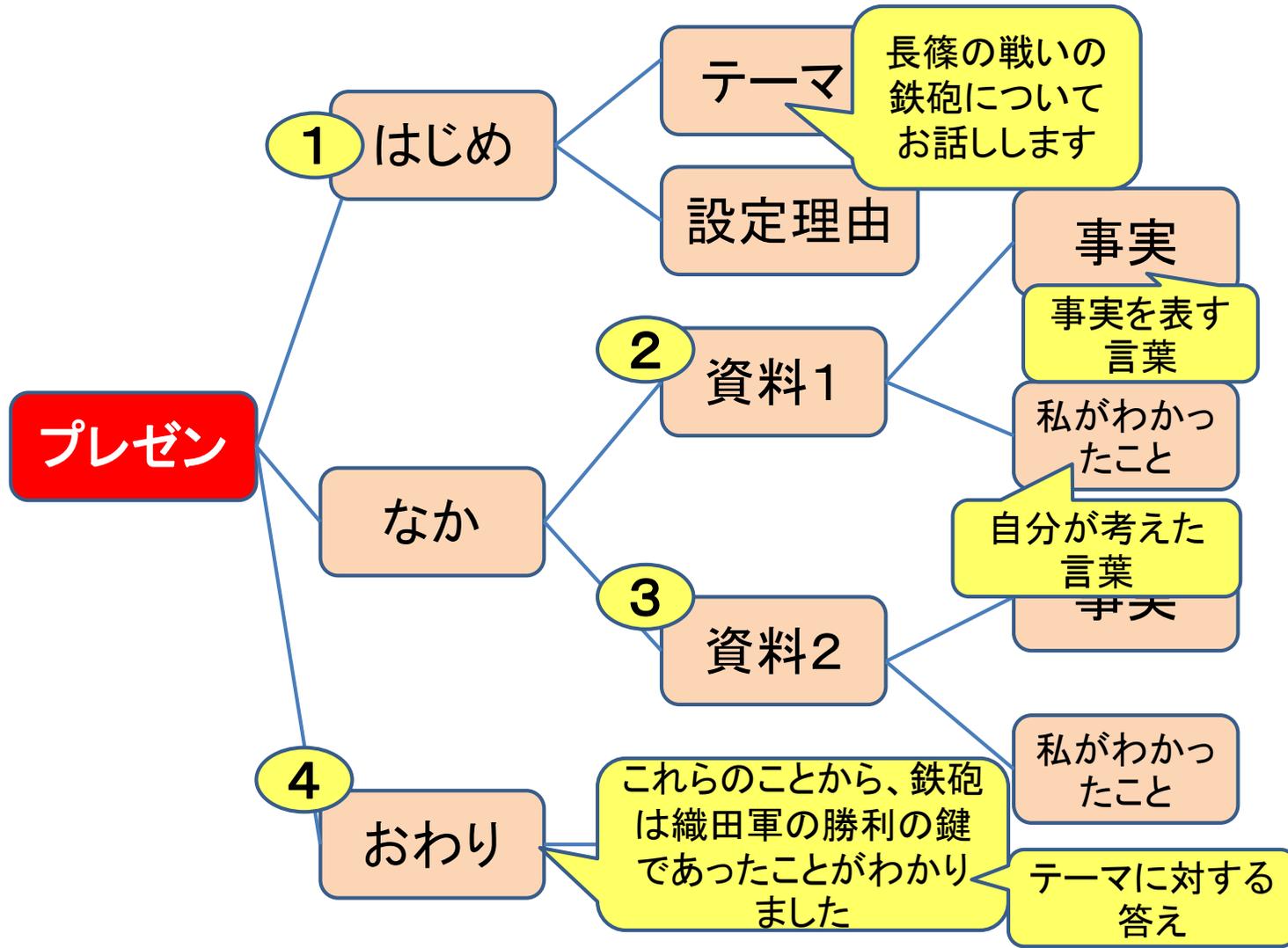
1班3分以内

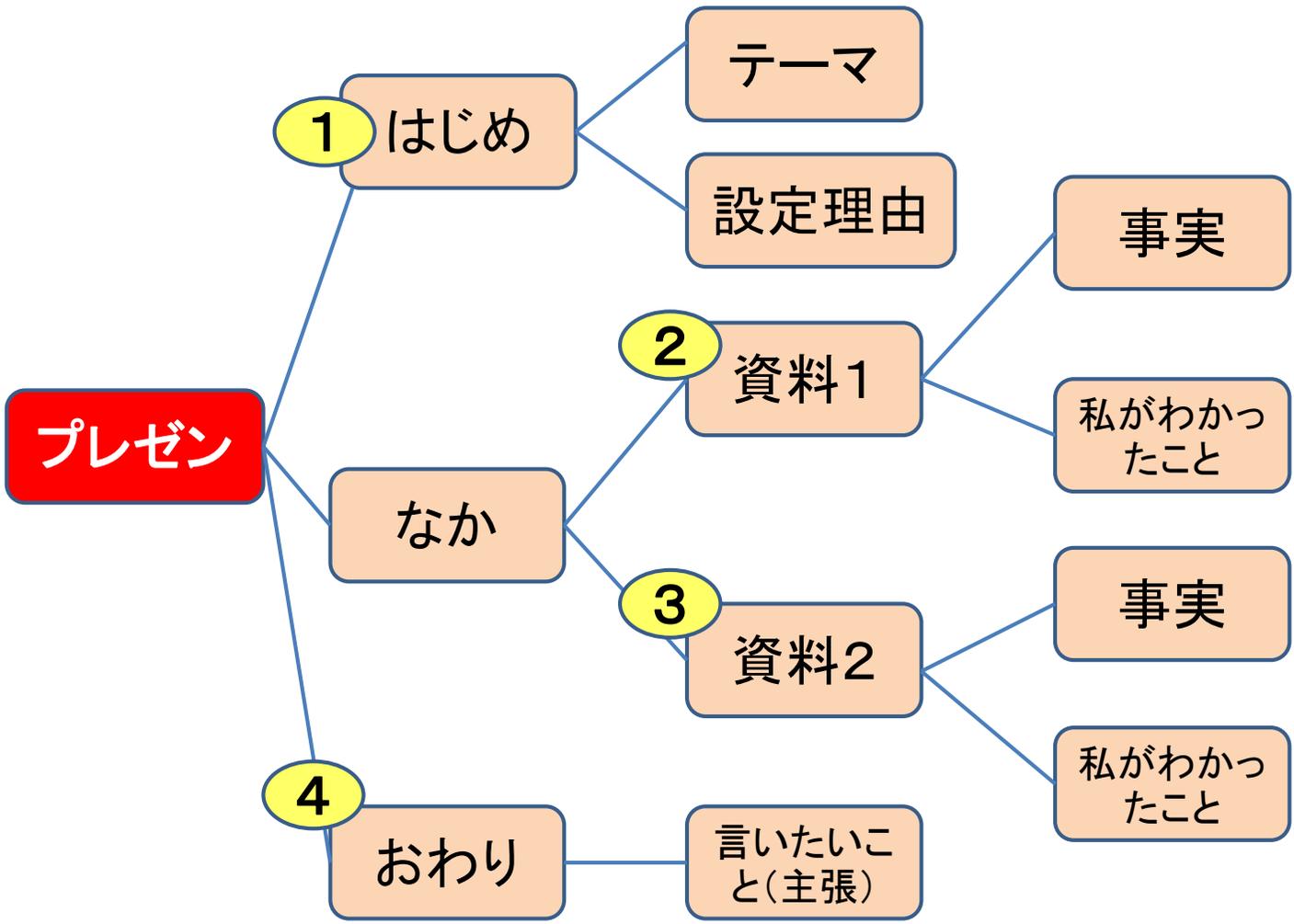
手 順

1. 個人で調べる(4人に異なる資料を配付) 5分
→黄色の付箋紙にピンときたことを書く
2. グループングして伝えたいこと(主張)を決める 10分
→伝えたいことを画用紙に書く(掲示) **おわり**
→その理由も相談しておく **はじめ**
3. 主張を伝えるための要素を2つ選ぶ 5分 **事実1・2**
→ピンクの付箋紙に書き、小見出しとする
4. 小見出しにあった図を資料の中から選ぶ 5分
→図の上か下に付箋紙を貼ると即席スライド完成
5. **プレゼンの分担をし、練習をする** 10分

☆プレゼンをする 20分

1班3分以内





まとめ

- 知識は一定のルールを持って発信されている。そのルールを知らないと知識を得ることができない。知識を習得するには、知識が発信される時の論理の構造を知る必要がある。これを知ることが論理的な思考の基礎となる。
 - 大きなまとまり（原因と結果、問いと答え）
 - 上位概念と下位概念（昆虫⇔セミ）
 - 論理の道筋
 - 目的・問題提起
 - 事実・結果など
 - わかったこと（考察）
 - 結論
- 習得した基礎は転移できる。（活用）

注意！

中身は学年を経るにつれて充実していきます。

小さい時は、枠組みがわかることが大切です。